

介護過程Ⅳ

担当教員 吉岡 久美、水上 幸代

配当年次 3年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

介護の実践に必要な他職種とのチームアプローチを学び、個別介護支援計画作成のための介護専門職との連携、サービス担当者会議における他職種との調整、インテークからモニタリング、再アセスメントといった一連のプロセスを理解する。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	チームアプローチとは何かを理解する 〈水上〉
2	チームに存在するメンバーの役割を理解する 〈水上〉
3	生活課題解決のためのチームアプローチの意義を理解する 〈水上〉
4	ケースカンファレンスの意義・目的を知る 〈水上〉
5	サービス担当者会議の意義・目的を知り、準備から実施までを理解する 〈水上〉
6	チームアプローチによる支援を理解する 〈水上〉
7	介護過程におけるチームアプローチを理解する 〈水上〉
8	介護過程とケアプランの関係性を理解する 〈吉岡〉
9	ケアプランに基づいた個別介護計画を作成し、重要性を理解する 〈吉岡〉
10	作成した計画におけるチームアプローチを探る 〈吉岡〉
11	介護過程と他の職種との関係を理解する 〈吉岡〉
12	介護過程における他の職種との連携を理解する 〈吉岡〉
13	日常生活介護における社会資源を理解する 〈吉岡〉
14	社会資源の活用方法を知る 〈吉岡〉
15	事例をもとに、ケアプランと介護過程を理解する 〈吉岡〉

【履修上の注意事項】

事前学習として、講義で示している単元のテキストを読んてくること。
事後学習では、講義中にとったノートをまとめなおすこと。

【評価方法】

筆記試験 80% 演習等における課題提出 10% 講義・演習における参加状況と積極性 10%

【テキスト】

新) 介護福祉士養成講座編集『介護過程』中央法規

【参考文献】

授業の中で適宜提示する。